

「よい良い知財システム構築」に向けての提言

外国での権利化に不安が...



最近、特許にないやういのか？

日米協働調査って？ (1小)

進歩性のハードルは？ (3小)

各庁記載要件の判断差は？ (2小)

情報提供は有効？ (4小)

方法の発明の取り扱いは？ (1小)

最近の審査の質は？ (5小)

特許制度のハーモナイゼーションに向けた調査研究 第1小委員会

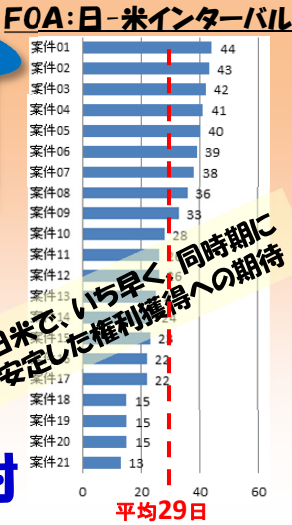
事業活動のグローバル化が加速する中で..
 その1. 世界市場で勝ち抜く！ その2. No More 技術流出！



出願・権利化にあらたな扉が開く！

秘匿か？ 他者権利化防止か？

日米協働調査試行プログラム



最適な方法発明保護の検討

- 制度利用結果(36件)を徹底分析
- ① 利用メリットを実務視点で明確化
 - ② 制度利用促進に繋がる真の施策を検討

- ① 現行制度をフル活用した有効な製法特許出願のしかた
- ② 特許法以外の制度による保護の可能性

記載要件に関する研究 第2小委員会

五極における記載要件判断の比較(中長期テーマ)

240件のPCT出願をもとに「First Action」における指摘件数の大小を比較

サポート要件	明確性要件	実施可能要件
日中韓 > 欧米	欧中韓 > 日 > 米	日韓 > 欧米 > 中



「統計結果」と「各極の典型事例」を提示
 →国際ハーモの一助に！



進歩性に関する研究

第3小委員会

近年の審決取消訴訟(査定系)の分析

2015年:審査基準改訂! ----->

- ・ 特許査定率が年々上昇しているが、裁判所の判断が審査に反映されたから?
- ・ 改訂審査基準の内容は十分か?

近年の審決取消訴訟の争点を分析することにより、上記の疑問点を検証
 →進歩性判断の基準を明確化し、
 JIPA会員企業へ情報提供 & 特許庁へ意見発信



特許出願における諸問題の検討

第4小委員会

本年度テーマ: 情報提供の真の活用術を探る!

- ・ 情報提供有り → 登録率は **13%** **ダウン** (※通常登録率比)
- ・ 情報提供の採用率 → **73%** と結構高い! でも...



2004年以降29条・29条の2で**全部無効**となった特許の **37%** (48件/179件)が審査過程で**情報提供有り**が発覚!

- ・ 有効活用されなかった原因を究明(包袋調査)
- ・ 無効理由を含む特許を成立させない戦略を検討!
ゴール: 情報提供の活用術の提供



審査の品質に関する研究

第5小委員会

2014年 特許庁はFA11を達成!

審査迅速化



審査品質?



(出展:特許行政年次報告書2016年版)

他国ファミリーの審査状況との比較により、審査の品質を徹底検証!

- 仮説1) 1件ごとの審査に多くの時間は割くことはできない??
- 仮説2) 従属項の調査・審査は大丈夫??